

すくい 議会だより

No.85
2013.4
編集 議会広報編集特別委員会



●今号の主な内容

3月定例会のあらまし…2～9

予算特別委員会／本会議／議決結果等一覧

町の考えを問う

一般質問 10議員が登壇…10～19

常任委員会の活動報告…20

議会改革特別委員会…21

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り 51…22～23

●今号の表紙／まちの笑顔シリーズ
「安庭小学校放課後児童クラブ」

予算総額139億9858万円を可決 太陽光発電設置・牧草地再生対策などで増額



平成25年3月定例会は、2月27日から3月19日までの21日間の会期で行われました。

冒頭に町長の施政方針演述と教育委員長の教育施策方針演述があり、本年度の当町の方向性が示されました。

この中で、「住民主役のまちづくり」を基本に、第二次栗石町総合計画を一層推進していくため、次の五つの重点事業を柱に展開していくことが表明されました。

1. 再生可能エネルギー推進
2. 学力を育む環境整備
3. 地域包括ケアシステム
4. 地域産業支援強化
5. 防災体制強化

本定例会では予算案件が11件、条例の制定案件が8件、条例の一部改正案件が8件、補正予算案件が11件、指定管理者の指定が2件、その他案件が4件あり、これら計44件の案件は全て原案通り可決しました。

そのほかに、請願1件は不採択、陳情1件は継続審査となりました。

一般質問は、10名が登壇し、3日間にわたり町当局の考えをいただきました。

総括歳入全般

問

震災復興特別交付税8千万円の、計算根拠と使い道は。

答

8千万円のうち7954万4千円は、いわて型牧草地再生事業の除染に係る町負担分相当額と検査費用となる。

問

町の第三セクター(株)しずくいしは、4年連続の赤字見通しということだが、設立当初2、3年で準備金や引当金を用意していたが現在の残高は。

答

利益準備金約1020万円、修繕積立金約1千万円と他を合わせて2300万円ほどである。

問

栗石町には広大な山林がある。町有林1662ha、財産区有林2002haの官有林の間伐等施行年度計画を策定して、CO₂排出取り引きにのせられないか。

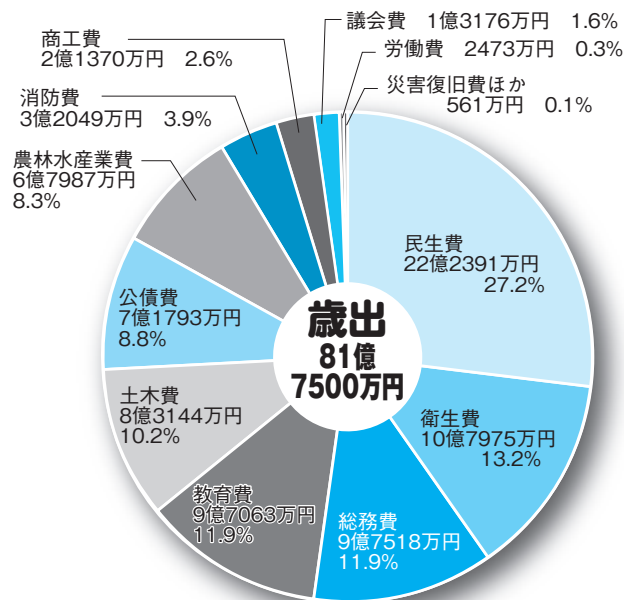
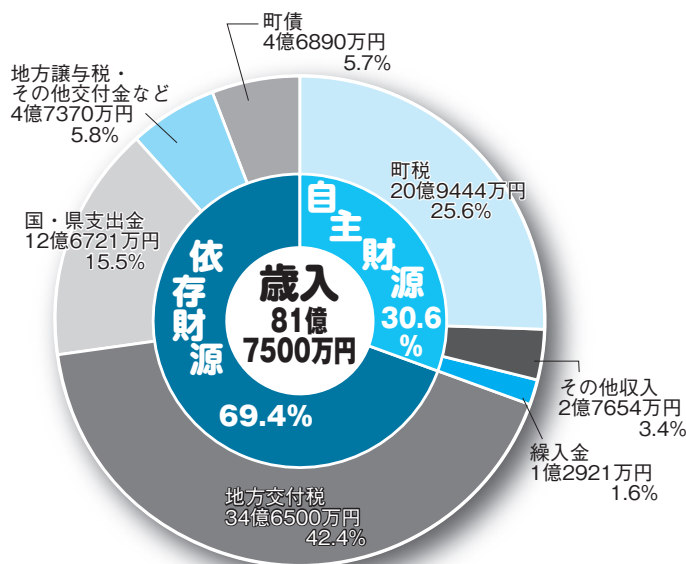
答

長期の視点に立った施業計画はなかった。施業計画の積み上げをし、そのような制度で社会貢献できるよう導入していきたい。

数字で見る予算

一般会計

歳入・歳出の内訳



議会費から総務費

問

ファシリテーション研修委託料とタイムマネージメント研修委託料の目的は何か。また、それを町政にどのように反映させるのか。

答

ファシリテーション研修は、地域をリードしていく人たちを育てることが目的であり、タイムマネージメント研修は、段取り性を重要視した職員研修である。

問

電話交換手の委託を廃止するとのことだが、どのような対応をするのか。

答

4月1日から各課への直通電話方式に切りかえる。代表電話(692-2111)は、当面総務課で取り次ぎを行う。

民生・福祉関連

問

社会福祉協議会補助金が3488万5千円あるが、この4年間で1千万円以上増額になっている。その理由は。

答

職員の給与費や維持管理に係る分を補助しているが、職員の入れ替え等で給与費のアップがあり増額になった。

問

23年度に制定した雫石町補助金等見直し基準の中で、社会福祉協議会、しずくいし観光協会、商工会に対する補助の見直しをしないとしたのはなぜか。

答

公共的団体として補助金の交付期間や補助率の設定を要しないとしたもので、見直しが必要ないということではない。補助金の交付期間は3年以上が原則だが、この3団体にはこれまでも助成支援を行っており一律に交付期間を定めるのは無理があった。ただし独立採算に向けた見直しとしては、漫然と補助することなく引き続き精査していく。

問

老人憩の家はかなり古く不便も指摘されており、整備の予定等はあるのか。

答

建物は40年以上経過し相当老朽化している。平成24年度は延べ2万3986名の利用があり、修繕しながら維持管理に努めている。将来的には検討していかなければならない。



老朽化は進んでも人気がある老人憩の家

ワンポイント解説

民生費……主に高齢者、障害者、子どもの福祉に使うお金



公債費……町債（町の借金）返済に充てる経費



商工費……町内の商工業の支援や観光振興などに使うお金



労働費……雇用対策や勤労者の支援に使うお金



衛生費……健康づくりや環境対策、ごみ処理などに使うお金



町民一人あたりの歳出金額

平成25年3月末
人口1万7893人で試算



議会費
7364円

総務費
5万4501円

民生費
12万4289円

衛生費
6万0345円

労働費
1382円

農林水産業費
3万7996円

土木費
4万6467円

消防費
1万7911円

教育費
5万4246円

災害復旧費
34円

公債費
4万0124円

予備費等
279円

商工費
1万1943円

問

エネルギー導入事業費補助金が昨年より 35 万円減額の 350 万円とあるが、太陽光で 7 万円、ストーブが 10 万円という助成措置があったと思う。減額理由と積算根拠は。

答

太陽光への補助を 30 件予測して 210 万円、木質燃料燃焼器（20 万円以上）が 11 件 110 万円、20 万円未満は 5 万円の補助とし 6 件で 30 万円の積算をした。減額理由は太陽光が 12 件、ストーブが 15 件で約 197 万円だったことによるが、24 年度実績比較では増額ということになる。

問

保健福祉計画を見直したことからガイドブックを作り直し約 6 千世帯に配るとのことだが、あまり読まれないようなものに 101 万 9 千円も予算計上したのか。

答

保健福祉審議会委員からも同様の指摘があったが、今回の見直しに合わせて福祉に関する事業や業務内容、さらに連絡先や手続方法も入れたガイドブックとして全戸配布したい。

農林水産業費

問

牧草地再生対策事業の目的と事業実施計画は。

答

畜産経営に、放射性物質に対する風評被害が出ていることが挙げられる。また町内からは 100 ベクレルを超えるような牧草は検出されていないが、基準以下の牧草でも長期間与えることによって牛の体内に蓄積する恐れがあるため、安全・安心な畜産経営を推進し、町内外にも安全性をアピールすることを目的としている。

24 年度は 47ha、25 年度が 440ha、26 年度が 344ha、27 年度が 402ha、全体で 1230ha となり、25 年度の予算としては資材費用として 7700 万円、作業委託料としては 8100 万円を計上した。費用全体を県と町が二分の一ずつ負担する。

問

新規就農総合支援事業費補助金 750 万円、農地集積協力金 610 万円が計上されているが、町単独事業なのか。

答

人・農地プランへの取り組みに対する予算で、国策への取り組みとして町からの申請に基づき国から補助金、または協力金として支払われる。25 年度は新規就農総合支援事業費補助金の審査基準を満たす方を 5 人、農地集積協力金については 20 戸 20 世帯ほどを見込んでいる。

商工費

問 「雫石の水」の製造委託料の内容は。

答 上水道供給 50 周年記念の年に当たるので、500ml ボトルを 6 千本作り、水資源を活用し観光物産に結び付けたい。

問 町が観光協会に委託している観光ガイドブックに、協会非会員の宿泊施設が掲載されてなく、非会員に不利益をもたらしているのでは。

答 昨年 12 月発行分は部数も多く刷り直しできないが、次回以降は不利益とならないよう掲載確認を行う。

土木費

問 当町の除雪業務は、NPO と契約締結しているが、その先の NPO と除雪下請け業者との関係は把握していない。除雪費の使われ方が適正かどうかチェックできる条例（公契約条例）を作るべきではないか。

答 公金の管理内容について、追及、把握できるようにする。条例についても検討していきたい。



今年の冬は雪が多く、多額の除雪費がかかった

教育費

問 英語指導助手業務委託を随意契約とするならば、公募などを行い、随意契約ガイドラインに沿って進めるべきでは。

答 指名業者の登録など把握できない部分があり、公募はせず随意契約としている。町内業者の把握については今後検討する。

問 25 年度に小学校適正配置について方針説明や周知するための予算は。

答 予算は計上していないが、通常の消耗品や報酬の中で行う。

問 26 年度の岩手国体への取り組みは。

答 夏季国体は 25 年度に実行委員会を設立し、冬季国体は県と協議しながら進める。

特別会計

問 下水道整備事業費の污水管敷設等工事費が 2 億 4 千万円計上されているが、鶯宿幹線部分については、どこまで進む予定なのか。

答 25 年度の施行箇所は、鶯宿幹線の天戸西地区と丸谷地地区である。天戸西地区は、県の流域下水道と合わせて工事を進めているが、流域下水道が戸沢公民館付近まで進む予定で、町もそこまで枝線を施行する予定である。

総括

問 日赤鶯鳴荘の移転先用地について、町はどのような返事をしようとしているのか。

答 3 月末まで日赤に返事をするため検討してきたが、要請のあった鶯宿^{びょうほ}の苗圃跡地の一部 1 万 5 千㎡を移転先として許可したいと考えている。



日赤鶯鳴荘の移転候補地となっている南畑小学校東側の町有地

町当局に4項目の意見を提言

意見

1

雪まつり道路渋滞時の観光客への対応策として、仮設トイレ、道路標識の設置等を検討すべき。



意見

2

銀河ステーション空調設備改修には、ジオサーマル(地熱)利用も比較検討すべき。



意見

3

アグリリサイクルセンターに若手の雇用をすべき。



意見

4

住宅リフォーム事業費補助金は好評なため24年度で終了せず、今後も継続を。



一 討 論

平成 25 年度予算の議決に対する討論（要旨）

平成 25 年度予算の一般会計、特別会計および企業会計を議決することに対する討論が行なわれました。その要旨を紹介します。



反対

西田征洋議員

一般会計予算では地方債残高の推移に不安がある。

委託料をめぐる町民の疑念は底深いものがあり、これに当局は誠

実に応える姿勢が欠けているのではないかと。また、今回は特に草地の放射能の除染に思い切って取り組んだことは大変評価できるが、その農業行政の整合性に疑問を感じる。もっと町民生活の改善に大胆に取り組むよう希望する立場から反対する。

国保特別会計は、国会決議に忠実に国が相応の負担をすれば保険料は軽減されるはずだが、それをしないで負担増を強いていることに憤りを覚える。

御明神財産区は、そのあり方がどうか今問われているのではないかと。

介護保険制度は、改定されるたびに国民負担が強まっていくもので、強く抗議をしたい。

賛成

山崎留美子議員



昨年同様厳しい質問、意見がたくさん出された。特に補助金に関しては、特定財源から除染に関する牧草地再生対策事業、担い手を育むための新規就農総合支援事業や農業集積に関するもの、また浄化槽設置整備事業など、いずれも不可欠な事業であると認められる。

一方、補助金の使途が果たして公正に審査されているのか、本当に公益性が高いのか、不透明な部分も多々あると言える。今後さらに精査が必要で、その審査は厳しく求められる。

また、委託料について、観光関連では昨年のおよそ2.5倍と増額になっている。全体では昨年対比では52万円の増で、金額的にはほぼ同じであるが、スリム化ができていないと言っても過言ではなく、さらなる絞り込みが必要と考える。

今回議会から出された苦言、提言を糧として、当局が行政力を発揮されることに期待して賛成意見とする。

条例の制定（主なもの）

条例の制定 8 件の内、5 件は地域主権改革一括法の制定に伴い、町条例で定める必要が生じたための制定で、ほぼ国の基準どおりの制定。

○雫石町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

地域主権改革一括法の制定に伴い、町条例で定める必要が生じたための制定。

問 居室の定員は 1 人とし、1 人当たり 10.65㎡ということは、町長が認めた場合 4 人以下とすることができるとあるが、4 人入ったら 4 人×10.65㎡必要なのか。

答 必要である。

○雫石町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

新型インフルエンザ等対策特別措置法の制定に伴い、同法に定めるもののほか、雫石町新型インフルエンザ等対策本部に関し必要な事項を制定。

条例の一部改正（主なもの）

○雫石町公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について

年度途中においても賦課対象区域の決定および告示を行なうことができるようにするための所要の改正。

○雫石町公民館使用料条例の一部改正について

公民館使用料の事後納付についての規定を追加するための所要の改正。

公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて

（指定の期間 平成 25 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）

施設名称	指定管理者
雫石町農村資源活用施設 （そば打ち体験施設、 農林産物処理加工施設、 日本のハーブ園）	特定非営利活動法人 オール・カネージュ雫石 理事長 小志戸前 和夫
雫石銀河ステーション	株式会社しずくいし 代表取締役 高橋 昌治

一般会計補正予算（平成 24 年度主なもの）

○一般会計補正予算（第 7 号）

補正前の額	補正額	計
85億3975万3千円	3億6023万0千円	88億9998万3千円

▶大村地区中山間地域総合整備事業費負担	900 万 0 千円
▶除雪機購入	2718 万 5 千円
▶道路舗装補修工事	5397 万 2 千円
▶中学校耐震改修工事	2 億 4738 万 0 千円

主な質疑

問 大村地区中山間地域総合整備事業の全体計画と概算額は。

答 用排水路は 6850 m で 3 億 1800 万円、暗きょ排水は 20.5ha で 5470 万円、集落道は延長が 720 m で 5880 万円、営農飲雑用水の総額 7 億 3440 万円、営農飲雑用水の受益世帯計画量は 100 世帯 329 人を見込んで 1 億 1659 万円を見込んでいる。25 年度は、営農飲雑用水の実施設計と用地取得費として岩手県の総事業費が 6000 万円であり、そのうち町は 15% 相当額を負担する。

○一般会計補正予算（第 6 号）

補正前の額	補正額	計
84億1755万1千円	1億2220万2千円	85億3975万3千円

▶しずくいし観光協会補助金（増）	1350 万 0 千円
▶道路除雪業務委託料（増）	7211 万 7 千円

問 しずくいし観光協会補助金の増額根拠は何か。要求しただけ助成されるのか。

答 3 種から 2 種旅行業への登録条件として 24 年度の財政状況、基準資産額がある。必要とされる基準資産額の不足分が 550 万円、営業保障金の不足が 800 万円で合計 1350 万円を計上した。さまざまな分野に波及効果も見込まれる業態であるので、公的な補助金を入れることが妥当と判断した。



問 道路除雪業務委託料が増額された内容は。

答 12月 は前年度並みの出勤回数で、1月 は昨年度23日 に対し今年 は31日間、毎日出勤している。
2月 も2月 13日現在で 12日間出勤しており、1、2月 はほぼ毎日除雪車を出さなければならない状況である。今回補正は、2、3月 分の除雪予測を含んだ額である。

○請願第1号 消費税増税に反対する請願書（不採択）

提出者＝くらしを考えるネットワーク

代表者 高橋 克公

増税による町民生活への影響は懸念されるものの、国の将来を考えたとき、社会保障の安定的運営が望まれる。国民皆保険制度という世界的にも誇れる社会保障制度を堅持することなどを鑑み、本件を不採択とした。

○陳情第1号 下戸沢地内 生活道路の舗装に関する陳情書（継続調査）

提出者＝天戸行政区長 畑山 眞 他7名

当該箇所は幅員が狭いため陳情内容を満たすには拡幅工事が必要で、隣接する住民の同意や地権者の承諾など、事前にさまざまな諸条件をクリアしておく必要があることから継続審査とした。

特別会計補正予算（主なもの）

○国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

補正前の額	補正額	計
20億7893万8千円	1億464万2千円	21億8358万0千円

▶一般被保険者療養給付費（増） 1億1559万2千円

○介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）

補正前の額	補正額	計
15億9149万2千円	3869万1千円	16億3018万3千円

▶地域密着型介護サービス給付費負担金（増） 1280万9千円

▶介護予防サービス給付費負担金（増） 1433万1千円

平成25年 第2回雲石町議会 3月定例会 議決結果等一覧

議案番号	議案名	議員名	田屋 館愛子	幅 秀哉	岩持 清美	山崎 留美子	加藤 真純	杉澤 敏明	川口 一男	前田 隆雄	西田 征洋	谷地 善和	村田 厚生	田中 栄一	大村 昭東	上野 三四二	坂下 栄一	坊屋 鋪俊一	平子 忠雄	煙山 惣右衛門	石亀 貢	採決結果
議案第1号	雲石町証人等の実費弁償に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第2号	雲石町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第3号	雲石町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第4号	雲石町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第5号	雲石町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第6号	町道の構造の技術的基準等を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第7号	雲石町河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第8号	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第9号	雲石町情報公開条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第10号	雲石町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決
議案第11号	雲石町営住宅等管理条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		可決

議案番号	議案 等 号	議案名	議員名																採決結果		
			田屋 舘愛子	幅 秀哉	岩持 清美	山崎 留美子	加藤 眞純	杉澤 敏明	川口 一男	前田 隆雄	西田 征洋	谷地 善和	村田 厚生	田中 栄一	大村 昭東	上野 三四二	坂下 栄一	坊屋 鋪俊一		平子 忠雄	煙山 惣右衛門
議案第12号	案号	雫石町都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決	
議案第13号	案号	雫石町公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決	
議案第14号	案号	雫石町公民館使用料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決	
議案第15号	案号	平成24年度雫石町一般会計補正予算	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	欠	○	可決
議案第16号	案号	平成24年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第17号	案号	平成24年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第18号	案号	平成24年度雫石町下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第19号	案号	平成24年度雫石町農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第20号	案号	平成24年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第21号	案号	平成24年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第22号	案号	平成24年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第23号	案号	平成24年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第24号	案号	平成24年度雫石町水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第25号	案号	平成25年度雫石町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第26号	案号	平成25年度雫石町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第27号	案号	平成25年度雫石町御明神財産区特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	可決
議案第28号	案号	平成25年度雫石町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第29号	案号	平成25年度雫石町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第30号	案号	平成25年度雫石町簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第31号	案号	平成25年度雫石町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第32号	案号	平成25年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第33号	案号	平成25年度雫石町立雫石診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第34号	案号	平成25年度雫石町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第35号	案号	平成25年度雫石町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第36号	案号	雫石町の辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第37号	案号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第38号	案号	公の施設の指定管理者の指定（雫石町農村資源活用施設）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第39号	案号	公の施設の指定管理者の指定（雫石銀河ステーション）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第40号	案号	雫石町・滝沢村介護認定審査会共同設置規約の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第41号	案号	平成24年度雫石町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第42号	案号	雫石町・滝沢村障害程度区分認定審査会共同設置規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
発議第1号	議号	雫石町議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
発議第2号	議号	雫石町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※猿子議長は採決には加わりません。

・議案1号から議案14号については、猿子議長が欠席のため、石亀副議長が議長を務めました。



質問者／
た や だて あい こ
田屋 館 愛子 議員

20年後の子どもたちを考えて、
食育するなら
今でしょ！

チョット
ひとりごと

雫石町食育推進計画の現状は

町長／食育への関心を高め、理解を深める

問 子どものころから食べることの意味と重要性を知り、安全・安心な食べ物を選択する力を養うことが重要だ。食に対する感謝の心や望ましい食生活を習得のための食育に対する取り組み状況は。

町長 食育を推進するにあたり、町では五つの指標と目標を設置している。

1. 朝食を食べる児童、生徒の割合は95%
2. 家族そろって食事をする割合は88.4%
3. 学校給食に地場産物の使用割合は米100%、野菜33%
4. 食生活改善推進員数は116名
5. 食育月間を知っている人の割合は15.4%

食育への関心を高め、目標が達成されるよう広報紙などを通じて広く周知を図っていく。

学校教育課長 小学校では週4日が米飯、1日がパン食。中学校では週3日が米飯、2日がパン食。栄養士が各学校を年2回訪問し児童、PTAを対象に食育指導を行っている。

健康推進課長 子育て支援教室で離乳食の勉強。小学校の親子教室では親子の食育教室。高校生を対象に貧血予防。障がい者の食

生活支援で施設訪問。中高年を対象に高血圧予防、24年度は西山、御明神地区を重点に活動をしている。

食育運動こそが住民主役のまちづくりだ

問 お金を出せば何でも買える、便利だから、楽だから。食の乱れによって体の病気、心の病気の原因になっている。食べ物が人生を変えと言っても過言ではない。食の大切さに町を挙げて取り組んでは。

町長 健康寿命が日本一になった長野県の取り組みも精査しながら、雫石町でできるだけ食に関心を持ってもらい健康な生活が送れるよう頑張っていきたい。



幼児期の食事は大切なもの

農業問題を
もっと質問したかったなあ…

チヨット
ひとりこと



質問者／
にしだ まさひろ
西田 征洋 議員

介護保険と、生活保護基準改正の影響は

町長／国の方策を注視

問 安倍内閣がいままでさえ重税感の強い消費税を5%から8%、さらに10%へと税率を上げることを決めたが、同じ時期に介護保険制度で保険料のさらなる負担増、各種利用料も大幅に引き上げようとしており、同時に生活保護基準の引き下げの計画が具体化してきた。このことは、消費税増税を社会補償充実のための財源にするという口実が全くのウソだったことがはっきりした訳だが、その影響はどんなものがあるか。

町長 現時点では国から具体的な改正案が出されていないが、制度改定は介護保険料や利用者負担への影響が避けられないものであり、懸念されるところだ。

生活保護基準の引き下げは、非課税限度額に関係してくることから新たに課税対象者が生まれる場合があると予測される。

意見 2010年の介護保険の改定のアウトラインが示され、数字も出ている。要支援者の利用料で負担が1割から2割の計画、年収320万円

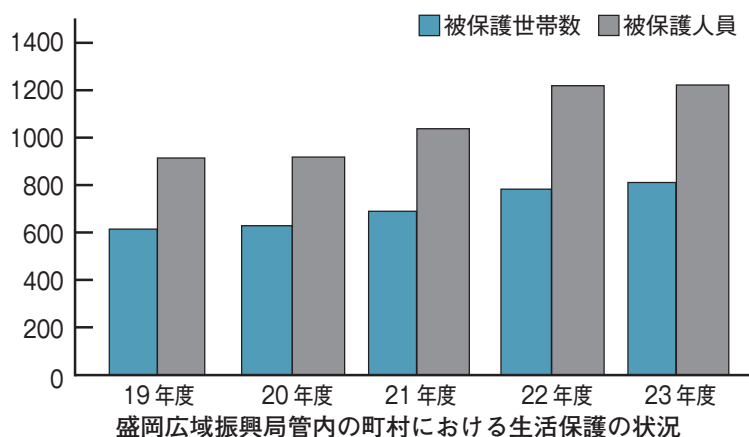
以上の人の利用料も2割負担に、ケアプランの作成を有料にする。これだけで320億円。ちなみにこの額は政党助成金とびったり重なる。さらに居住費も60億円の増。利用抑制で逆に重症化の危険が出てくる。

生活保護費の引き下げで、何ら収入が変わっていないのに生活保護打ち切りの世帯が出る。打ち切られた上にさらに新たな課税負担が強まる。国民のすべてに保障されるべき健康で文化的な生活基準を維持すべき制度が崩壊してしまう。

手厚い就学援助を

問 雫石町で就学援助を受けている小中学生の率は11%を超える。生活保護基準が引き下げられてもいま受けている人たちが全部に適用すべきではないか。

町長 今後さらに対象者が増えるものと思われ、認定基準の引き下げも視野に入れて検討したい。



できない理由を
答弁するのではなく、
どうすればできるか
みんなで考えよう。

チョット
ひとりこと



質問者／
うわのみよじ
上野三四二 議員

雫石駅の改札口を1階に

町長／JR盛岡支社に要望を継続

問 雫石銀河ステーション(JR雫石駅)は利用者から不評である。改札口を1階にし自動改札化すべきである。また、2階の産直店を1階に移転し、周辺住民も利用しやすいようにしてはどうか。

町長 利用者の要望があることを申し込んでいるが、極めて困難と回答を得ている。今年1月の利用実績は、一日当たり新幹線81人、在来線約1千人の乗降者があり、今後の利用者サービス向上のため、JR盛岡支社に要望を継続していく。

産直コーナーは、農山漁村活性化支援交付金を活用したことから、現状利用したいと考えている。



改札口を利用するには、
いったん2階に上がらなければならない

ILC*の誘致活動を積極的に

問 ILCの国家プロジェクト計画があり、本県も有力候補地に挙がっている。子どもたちの夢の実現や東日本大震災の象徴と位置づけ、産学官が連携した戦略方針であり、人材育成や産業振興にも大きな期待がもたれる。県と連携し、もっと積極的に推進行動をすべきと考えるがどうか。

町長 誘致は、当町を含む東北全体に大きな効果と期待があり、東北が一丸となって取り組むテーマと考えており、町としては町村会はじめ関係組織、機関と連携して誘致活動に取り組む。

AED(自動体外式除細動器)の使用指導の強化を

問 町内の公共施設等にAEDは48施設54台設置されていると聞く。全国の救命事例も多くあるが、当町の場合、緊急時に実際に活用できるか疑問を感じる。非常時に備え、使用指導の強化を図るべきであるがどうか。

町長 適切に管理運営されるように、盛岡西消防署雫石分署の指導を受けながら、自主防災会による訓練やAEDを適切に使用できる人が増えるよう実施訓練に取り組んでいく。

* ILC(国際リニアコライダー)…国際協力による電子・陽電子衝突型線形加速器の開発計画で、現在達成しうる最高エネルギーで電子と陽電子の衝突実験を行う。

商店街通りを歩行者天国にし、
閑静で情緒溢れる
還暦通りにでもしたら
歩く人も増えるだろうな。

チヨット

ひとりこと



質問者
かとう ますみ
加藤眞純 議員

国道46号沿いに商店移設や誘致を

町長／関係者の熱意と意向を尊重して検討

問 以前、国道46号沿いに温泉付き道の駅を提案したが、一気に難があるので徐々に産直施設等から始め、希望する商店の移設や誘致を計画してはどうか。

町長 JA新岩手が産直を開店したこともあり、現在、マニフェストで提案の「道の駅と競合しない道の市」構想は検討していない。今後、商店街と46号沿線の展開のあり方については、どう支援すべきかを検討していきたい。

問 商店街通りは、できれば車両通行止めか一方通行にし、歩道を広くして閑静な住宅中心としてはどうか。そして、例えば適切ではないかもしれないが「還暦通り」にでもして、高齢化が加速する町の住民が、くつろげる憩いの空間としてはいかがか。

町長 22年からの商工会および道路管理者である盛岡広域振興局土木部と住民との意見交換会で、方向性がまとまっていない。25年度に同土木部による上町地区沿道整備計画検討ワークショップ開催が予定されており、推移を見守りたい。



日中でも人通りがまばらな元町商店街

「環境・エネルギー対策課」
にしては

問 エネルギー対策は、環境対策課の片手間仕事ではなく専門知識を持った窓口を設け、事業化支援や町による事業化など積極的に取り組むべきで、課の名称も「環境・エネルギー対策課」にしてはいかがか。

町長 今後のエネルギー政策の動向を注視しながら、庁内全体組織の見直しの機会に検討していきたい。

地熱熱水供給事業の再開を

問 再生可能エネルギーのさらなる普及・拡大が必要とされている。県や国に2006年に中断された熱水供給事業（要所には配管敷設済み）の再開要望を、強く働きかけていくことが必要、急務ではないか。

町長 町内山麓のあちこちに可能性があるの、専門業者と相談しながら展開していきたい。

■他にこんな質問もしました

- ・雫石町職員の定員適正化
- ・道の駅「あねっこ」の温排水熱の回収を
- ・自然エネルギーの導入に際し町で50%助成を
- ・公用車にEV（電気自動車）導入を

重粒子線プロジェクトが
雫石にあればなー

チョット
ひとりこと



質問者／
おおむらしょうとう
大村昭東 議員

重粒子線がん治療施設のオファーは

町長／オファーはなく、断った状況でもない

問 総合計画推進モデルプロジェクトの14haの町有地利用については、福祉・医療関連の施設を民間団体、企業からの協力を得て進めたいという話だったと記憶しているが、実現が不明瞭である。

昨年9月議会で質問した、東北大学の教授が同行してオファーしたとされる重粒子線がん治療施設を、この町有地に持ってくる方が実現性があつたのではないか。本当かは分からないが、町は議会と協議の上返事すると答えた聞いた。なぜ議会に説明しなかったのか。

町長 福島原発事故後の治療という大きな目的もあり、東北地区にそのような施設が必要ではという話しはあつた。オファーがあつたとかは、どこからの情報か分からないが、事業の実施方向でオファーがあつた訳でもないで断つたと言う状況でもない。

平成25年度事業等

問 小岩井地内の町有地14haの活用先行プロジェクトについて25年度に事業として取り上げない理由は。

町長 2つのプロジェクトを先行し、

■他にこんな質問もしました

- ・学力を育む環境事業の「確かな学力を育むため」とは
- ・地域産業支援強化事業の畜産物の6次産業化とは

質問のプロジェクトはさらに検討を進め取り組んでいく。

問 行財政改革を25年度事業として取り上げない理由は。

町長 終わりのない不断の取り組みとしての行財政改革は、施策の重点事業としての位置付けではない。

問 雫石ローカルマニフェスト2010で、町民と約束している町民所得10%増はどうなっているか。

町長 東日本大震災などの影響が続く社会経済情勢などから、実現困難と思われる。

問 地方自治体のコンプライアンス（法令遵守）に係ることで、NPOの領収書偽造や予算使い切り問題、補助金などの不正受給、民地の不法占拠、固定資産税の誤徴収などの不祥事が報道されている。地域社会の指導的立場にある自治体として、当町の取り組みは。

町長 今後、コンプライアンス体制の強化、倫理マニュアル作成を検討する。



14haの活用が検討されている旧落葉果樹試験場跡地

「指定管理」とパソコンで打ったら
「私邸管理」と出てきちゃった！
変換ミスないように
気をつけよう。

チョット

ひとりごと



質問者
やまざきるみこ
山崎留美子 議員

指定管理者制度の目的を明確に

町長／運用の中で課題は見え始めている

問 町の指定管理施設数は現在 33 あるが、全国的には制度導入以降の事故も多発し自治体が損害賠償を支払うという事例がある。制度目的は多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応することだが、指定管理の開始から 7、8 年経過しているものもある。いま一度公の施設のあり方の検討が必要ではないか。

町長 年度初めに指定管理の申請書とともに全体事業計画書および収支計画書を提出し、年度終了後は業務報告書の提出を義務付けている。業務の実施や施設の利用、収支状況や自主事業の運用の中で課題も見え始めている。施設の設置目的に沿って適切に管理運営されているかなど再確認し、検討する必要がある。

問 指定管理者制度に切り替わって、委託料や効率性を比較し、把握をしているか。

総務課長 16 年度以降、2～3 回更新している施設はあるが、その都度所管課で経緯

を踏まえ経費等について勘案し再指定しているので把握はされていると思う。

問 指定期間が 26 年 3 月 31 日までであるありね山荘は 4 年間で 1200 万円、老人憩の家鶯宿荘は 2900 万円の指定管理料であるが、区分は異なるものの金額に差があるのはなぜか。

観光商工課長 ありね山荘は、町内外の方の入浴施設で歳入があり、管理費の不足額 300 万円を指定管理料としている。また、約 250 万円以上の入湯税も町に入っている。

福祉課長 老人憩の家は、維持管理費や人件費の部分で管理料を支払っている。

問 指定の手続等に関する条例には運営協議会の設置記述がないが、第三者によるモニタリングも含め定めるべきではないか。

総務課長 さまざまな分野で課題が見えてきているので、今後に向けて検討していきたい。



指定管理者制度で運営されているありね山荘

■他にこんな質問もしました

- ・「顔の見える」町政運営について
- ・モデルプロジェクト推進の具体的スケジュールについて

学力が高いということは、
家庭、地域、学校の
喜びであると思うが…。

チョット
ひとりごと



質問者／
いしがめ みつぎ
石亀 貢 議員

水道事業のアウトソーシングを

町長／現状に合う民間委託を検討

問 水の供給は、責任の重大性から多くの自治体が直接運営であるが、水道事業を包括的に民間委託するアウトソーシング（外部委託）はどうか。

町長 水道事業は、取水、浄水、配水の各施設合わせて30カ所となる。また、導水、送水、配水の管路延長は約267kmになる。委託は維持管理業務、規模の大きい浄水場、配水池は、個別業務委託している。包括的な民間委託は現時点で計画はないが、水道事業を将来も持続可能とするため検討する。

債権管理条例の制定

問 町税、使用料等の滞納に対する徴収業務の体制整備、情報やノウハウの共有化と、債権回収条例の制定が必要と考えるがどうか。

町長 町税等債権の徴収率向上は、財源確保のため重要な課題である。町債権は、町税、国保税、使用料など多種多様であるが、法令で定められていない部分の条例化は検討する必要がある。

学力テストの結果と学力向上対策

問 24年度の当町小・中学生の学力テストの結果をどう受け止めているか。また、今後の学力向上に対して所信を伺う。

教育委員長 小学校の国語、理科は全国、県平均を上回っているが、算数は全国平均とほぼ同じ。中学校の国語、理科は全国、県平均を上回っているが、数学は全国、県平均を下回る結果になっている。学力向上対策として、教員の授業力向上の研修を充実させるほか、家庭学習と授業の連動を図り、家庭の協力を呼びかけていきたい。



人の暮らしに安全・安心な水の安定供給は欠かせない

モデルプロジェクトの
完成度を上げ、早く事業展開
するようにしないと…。

チョット
ひとりこと



質問者／
すぎさわとしあき
杉澤敏明
議員

モデルプロジェクトの新年度の取り組みは

町長／特定地域再生計画策定事業として継続

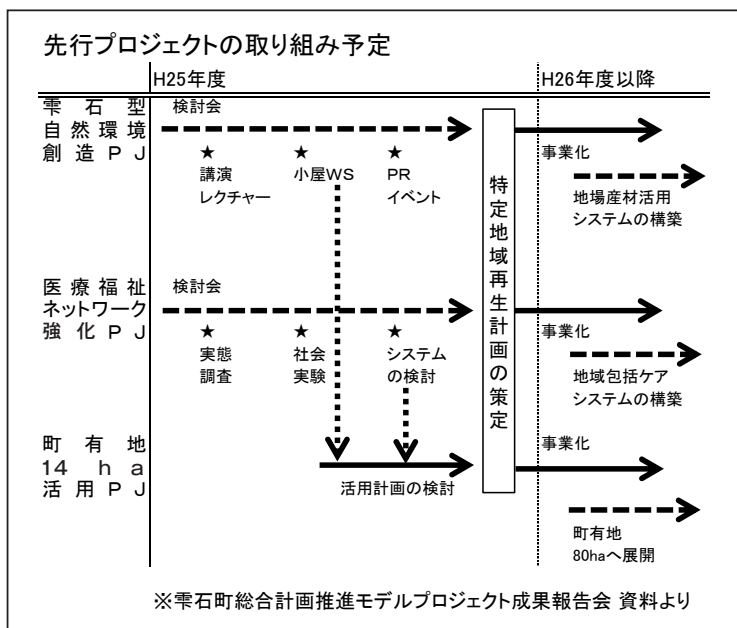
産業振興の推進体制は

問 町長は「産業再生戦略会議は、24年3月に終了し、3懇談会（新生農林業懇話会、工芸作家との懇談会、町内企業経営者との懇談会）の体制で産業振興策に取り組んでいく」としていたが、25年度はどのようにしていく考えなのか。

町長 新生農林業懇話会を発展させ、強い農林業づくり会議を開催し、当町農林業の課題解決を講じるための具体的施策についての提言をまとめていく。観光については、観光関連組織によって構成されるプラットフォーム（基盤）の形成を推進するため、中核組織となるしずくいし観光協会への支援策として、第2種旅行業登録に必要な予算（補正第6号、1350万円）を計上した。着地型旅行商品の企画販売、人材育成等を強化していく。

問 新年度における雫石町総合計画推進モデルプロジェクトの事業内容はどのようなものか。

町長 集約した7つのプロジェクトの中から、①雫石型自然環境創造プロジェクトと②医療福祉ネットワーク強化プロジェクトを先行実施。①は、町産木材の伐採から活用までの方策を検討し、地域資源の顕在化を図ることを目的とする。町産材を用いた仮設の小屋とパーゴラ（テラスの上に組む棚）を作る町産材ワークショップを実験的に開催。②は、相談やコーディネートを重点的に行う小規模多機能施設、訪問診療、訪問看護ステーションを視野に入れた地域包括ケアシステムの構築に向けた調査、検討を行う。なお、このプロジェクトの検討から町有地14ha活用プロジェクトにも取り組み、事業化につなげていく。



■他にこんな質問もしました
・施政方針演述について（提案・改善・実行の具体例）

接種率を高めなければ
何にもならない。
児童・生徒の保護者にも
認識してもらわねば。

チョット
ひとりごと



質問者／
いわもちきよみ
岩持清美 議員

予防接種助成を拡大しては

町長／範囲の拡大を検討したい

問 岩手県では今期、インフルエンザ流行警報を発令した。一般的に、季節型インフルエンザ罹患率^{りかん}は、15歳以下が一番でまん延の危険が非常に高いと言われている。この予防接種助成を拡大することは児童、生徒のみならず、町民へのまん延防止の一助にもなるので、小中学生へ予防接種助成拡大の考えを伺いたい。

町長 インフルエンザが町民生活に与える不安や影響などを最小限に食い止める必要性は十分に認識しており、できるだけ早い時期に教育、医療などの現場の意見を伺い、その助成範囲の拡大について検討したい。

健康推進課長 4月中に町内の開業医の先生方と相談し、調整を図ってその後の補正対応等を実行する方向で検討したい。

アグリリサイクルセンターの現状は

問 家畜排せつ物の管理適正化及び利用促進に関する法律により、当町では10億円もの巨費を投じて16年よりアグリリサイクルセンターを稼働させているが、稼働状況と機械等の補修状況、資源循環型農業の現状と今後の推進のあり方はどうか伺いたい。

町長 牛の糞尿と食品残渣^{ごんさ}の処理は、1日当たりの計画処理量49tに対し、23年度51.9%、24年度は1月末で57.3%であり、年間計画生産量は6387tに対して、23年度48.7%、24年度44.2%となっている。

年度別の修繕状況は、22年度437万円、23年度498万円、24年度1188万円と見込んでいる。町では、町内産の完熟堆肥を利用した農産物を認証する町農産物認証制度の推進や「安全、安心」な産地づくり推進事業による資源循環型農業の促進に努め、消費者の安心と信頼の確保や消費拡大に取り組んでいる。

今後は、この施設の機能を十分に発揮することを最優先にしながら、多くの農家に利用される品質の高い堆肥を生産し、資源循環型農業をさらに推進する。



インフルエンザの予防接種は
医療費の抑制にも役立つかも

星 飛雄馬の
大リーグ養成ギブスは体罰？
100本ノックは体罰？

チヨット
ひとりこと



質問者
幅 秀哉
はば ひでや
議員

固定資産税誤徴収の検証と対策は

町長／情報収集とチェックリスト化や知識と意識の向上を図る

問 当町に福祉施設を開設している法人に対し、数年間固定資産税を徴収していたことが判明した。どのような対処が行われ、誤徴収の検証はされたのか。今後の監視体制は。

町長 他県においての誤徴収を報道で知り、確認したところ、当町でも該当があった。早急に返還処置をした。法改正の理解不十分と事業調査不足が原因。

県、関係事業者などからの情報収集を行い、確認項目のチェックリスト化や職員の知識と意識の向上を図る。

生活保護制度の見直しによる影響は

問 生活保護制度の生活扶助費が見直されるが、保護費が下がった場合、町として補てん等考えているか。対象者への聞き取りや見直しをどう行うのか。

町長 生活保護の実施機関の盛岡広域振興局によれば、25年1月末現在で102世帯140人が対象である。国の正式通知がまだ示されていないため、現時点での影響の把握は困難である。

生活保護制度は国の制度設

計、費用負担で行うものであるから、町として減額処置や聞き取り、見直しを行うものではない。対象者の相談や支援を受けやすいように盛岡広域振興局と連携して取り組む。

体罰の有無と周知徹底は

問 体罰による問題が起き、各方面で調査が行われている。当町で体罰、パワーハラスメントの調査は行われたのか。その有無と体罰に対する考え方、周知徹底はどのようにするのか。

町長 調査は2月15日付で全小中学校へ依頼し、報告書は3月8日までに教育委員会へ提出するよう依頼している。

体罰は学校教育法第11条で禁止されているが、懲戒は教育上必要と認められるときは行うことができる。体罰なのか懲戒なのかの判定を画一的にすることは困難である。

家庭との十分な連携を通じ、教員と児童生徒、保護者間の信頼関係を築き体罰のない学校作りを指導していく。教育現場では書面、会議で学校長に指導し、学校長が教職員にコンプライアンス（法令遵守）の徹底を指導する。

■他にこんな質問もしました

- ・教育長の教育理念は
- ・スポ少活動への調査、聞き取りは

常任委員会●活動報告

調査実施日／
平成24年12月12日、
平成25年3月6日

調査項目／
所管事務調査

総務

総務常任委員会(谷地善和委員長)は、以下の所管事務調査を行いました。

1. 所管事務調査(12月12日)

財務4表について、企画財政課より説明を受け、発生主義による会計方式での経営成績や財政状態を調査しました。また、広域消防関連整備計画について防災課より説明を受け、25年度計画としてポンプ車および広報車の更新、役場や公民館等への太陽光発電パネル設置についても調査しました。

2. 請願審査、所管事務調査 (3月6日)

「消費税増税に反対する請願」を審査しました。その結果、増税による町民生活への影響は懸念されるものの、社会保障の安定運営が望まれ、高齢化社会の進行と医療費の増加は間違いなく、社会保障制度堅持を鑑み、「不採択」とすべきものと決定しました。

また、今後の閉会中の継続調査事項は次のとおり行います。

1. 財政健全化について
2. 定住促進について
3. 廃屋空家対策について

調査実施日／
平成24年12月14日～
平成25年3月11日

調査項目／
所管事務調査

教育民生

教育民生常任委員会(加藤真純委員長)は、以下の所管事務調査および現地調査を行いました。

1. 所管事務調査(12月14日)

患者輸送バスに係る生活交通対策事業の見直しについて、今後の委員会活動予定を確認。12月21日に町民課より説明を受ける事を確認しました。

2. 所管事務調査(12月21日)

町で運行しているバス事業の確認として町民課(デマンドバス)、学校教育課(スクールバス)、健康推進課(患者輸送バス)より説明を受けました。

3. 所管事務調査(2月15日)

人権擁護委員の推薦について福祉課より説明を受け、当局より推薦された方は多数の職務を兼務しているため、再考を求めることにしました。

4. 所管事務調査(2月19日、 22日)

各地区体育会より現状と課題について懇談を行いました。

5. 所管事務調査(3月11日)

町の平成25年度事業について、所管課より聞き取りを行いました。また、今後の閉会中の継続調査事項は次のとおりです。

1. スポーツ振興のあり方について
2. 患者輸送バスに係る公共交通体系の見直しについて

調査実施日／
平成25年2月13日、
平成25年3月6日

調査項目／
現地調査、所管事務調査

産業建設

産業建設常任委員会(川口一男委員長)は、以下の所管事務調査および現地調査を行いました。

1. 所管事務調査(2月13日)

所管する観光商工課、地域整備課、上下水道課、農林課、環境対策課、農業委員会から、25年度における重点事業の聞き取り調査を行いました。

2. 陳情審査(3月6日)

陳情第1号「下戸沢地内 生活道路の舗装に関する陳情書」について、現地調査を行った結果、道路幅や排水等の問題があるため「継続審査」とすべきものと決定しました。

また、今後の閉会中の継続調査事項は次のとおりです。

1. 農業・観光の振興策について
2. 特産品の開発について
3. 産業振興について
(熱水の再利用に係る調査研究)



陳情箇所を調査する産業建設常任委員

議会改革特別委員会 その7

各小委員会の検討を終了した調査事項について協議がなされ、改革に向けた取り組み事項を新たに追加しました。なお、調査、検討事項は第12回特別委員会（全体会）で決定した事項をもって、すべて終了しました。

また、今後の進め方について協議し、改革すべきと決定した事項の実施・監理と議会基本条例の検討を行っていくこととしました。

第12回特別委員会（全体会、H25.2.22開催）

○議場内の映像を配信することについて

住民のだれもがいつでも議場の審議の様子を見聞できるように、庁舎内や地区公民館、各家庭にインターネットを利用した映像配信（生中継、録画の両方）することとしました。早期に実現できるよう取り組んでいきます。

今年も「住民と議会との懇談会」を開催します！

雫石町議会では、住民の皆様への町政に関する情報提供と、皆様のご意見、ご要望を広くお聴きするため、昨年に引き続き「住民と議会との懇談会」を開催いたします。

今年は下記の3日間、2会場ずつの計6回開催いたします。時間は午後7時から午後8時30分を予定しています。

どの会場にいらしていただいても結構ですので、ぜひ会場に足をお運びいただき、皆様の声をお聴かせください。



昨年の懇談会の様子

懇談会開催スケジュール一覧表

開催日	5月7日（火）	5月8日（水）	5月9日（木）
会 場	雫石公民館（教養室）	東町公民館	高前田一公民館
	小松公民館	橋場小学校（1階ホール）	南畑小学校（1階ホール）

※各会場の出席者など詳細につきましては、4月第2週の区長配布のチラシもしくは雫石町のHPをご覧ください（雫石町HPアドレス <http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/>）

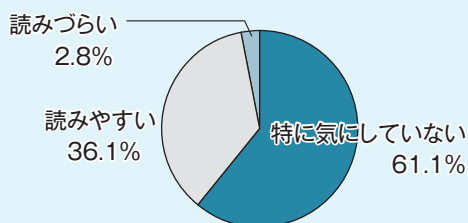
アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

【しずくいし議会だよりに関するアンケート結果】

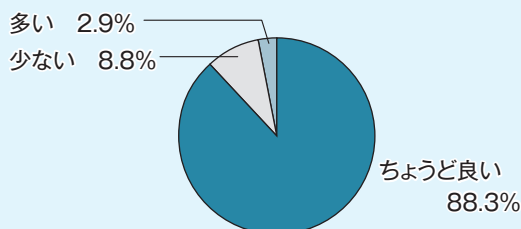
議会広報84号の発行に合わせて行った「しずくいし議会だより」に関するアンケートにつきましては、多数のご回答をいただき誠にありがとうございました。

皆様から寄せられましたさまざまなご意見・ご要望を、今後の広報紙作りの参考とさせていただきますので、これからもよろしくご指導くださいますよう、お願い申し上げます。

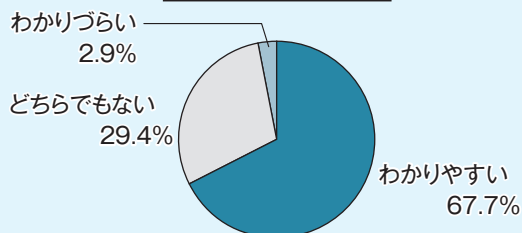
横書きの紙面はどう思いますか



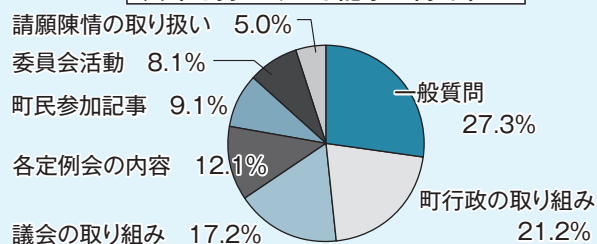
議会広報のページ数は



議会広報の内容は



興味を持っている記事は何ですか





議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



よこて じゅんじ
横手 純治さん
(56歳・上町1・2行政区)

観光について

当町は、一次産業、観光産業が大きな収益の柱だと思います。みんなわかっている事ですが、今一度考えてほしい事です。

他市町村の人と会い、雫石出身と言うと「雫石は観光する所が多くてお客が沢山行くから良いですね」と言われます。ただ、今のままではお客は減ることはあっても、増えることはないと思います。

長山街道では、個々の力を連動して集客ができているように見えます。それも、岩手山や温泉、小岩井など元々の資源をうまく活用しているように思います。議員、役場、観光産業者を中心として、その他多くの意見を聞き町全体で、観光客が増える施策を話し合っ、今後の発展につなげるよう(集客)に期待します。



たぐち あきお
田口 秋男さん
(57歳・籬野行政区)

魅力ある町づくりを

二戸市から移住して15年、建築業を営んでおります。雫石町も若者の流出による後継者不足、過疎化が深刻です。子や孫が魅力ある町と感じ「住んでみたい町」でなければなりません。

わが子も雫石町で子育てをし、私自身も母が介護施設でお世話になっております。保育も介護も入所の待機、高額な入所料。入所料については、同居世帯は皆の所得ゆえ、内情の配慮なく高額となります。これもまた核家族化の要因となります。自然にも恵まれ、盛岡市にも程よい距離にある雫石はとても魅力的ではないでしょうか。

町民の生活が第一です。町民が抱える町の借金は大変です。給料はすべて税金です。議員定数、役場職員の人数は多すぎます。それだけの働き、成果は挙げられていますか。

後世が雫石に定住し、わが町を盛り上げようという政策と成果を期待します。で、観光客が増える施策を話し合っ、今後の発展につなげるよう(集客)に期待します。



はっちょうの けんいち
八丁野 賢一さん
(51歳・八丁野行政区)

和牛オリンピックへ出場して

5年に一度の和牛オリンピックへの出場は、なかなか経験の出来ることではなく、出品に当たり、分からないことばかりでした。一年以上前よりご指導していただいた方々に感謝しております。

長崎の会場では、普段と異なる環境で、早朝より役場、JAの職員の皆さん方に、仮牛舎での作業等、いろいろとお世話をしていただきながら、毎日が不安と緊張の連続でした。

緊張がピークになりかけていたところ、会場に来ていただきました深谷町長、猿子議長をはじめ多くの方に応援と激励をいただき、少し緊張がほぐれました。

本番では、満足のいかない結果もあり、反省の残ることばかりでしたが、全国の和牛農家が努力する姿を見て、とても励みになりました。

今回はJA新しいわてから12頭の出品、そのうち町内より5頭も出品されそれぞれ入賞して大変嬉しく思います。

次回開催される宮城県では、町内産の和牛が一頭でも多く出場し、上位入賞を目指して欲しいと思います。



おお た
在京雫石町友会 会員 **太田サチさん** (旧姓柳屋)

故郷・同級生が今でも心の支え

私の実家は下町の名子です。屋号は徳右エ門で、7人兄弟の6番目として生まれました。昭和32年、中学校の先生より川崎の美容院で見習いを2名募集していますと教えていただき、親友の山田ハシメ（旧姓田中）さんと2人で上京しました。

その当時は、多くの皆さんも経験されたと思いますが、上京してからは苦労の連続でしたが友人と励まし合いながら頑張りました。途中何度もくじけそうになりましたが、時折くる母からの励ましの便りを見て、心配をかけてはいけないと思ふふんばり、働きながら通信教育で美容師免許を取得し、23歳まで同じ美容室に勤めました。昭和40年退職し、東芝勤務だった夫と結婚し3人の子どもたちに恵まれました。そして昭和55年には念願の美容院を横浜に開業しました。

子どもの頃の記憶ですが、母（ナミ）は歌が好きで盆踊り、秋祭りなどで歌っていました。コンクールなどでもらったトロフィーもたくさんあり地元では有名だった思い出があります。現在実家は親はもちろん、兄やおい

も他界しましたが、毎年8月になると実家を引き継いでいる家族（秀子）より「何時こちらに来るの？待ってるよ！」と連絡をくれるので大変感謝しています。雫石では大村昭東議員さんをはじめ、多くの同級生の方々が頑張られてるのを耳にします。帰省した際には少し声をかけるとすぐに数人が集まってくれるので楽しいひとときを過ごすことができます。

現在の状況ですが、孫の通う小学校の見守りボランティアをしています。毎朝通学路に立って、子どもたちを見守っています。また、15年前より新舞踊に挑戦し、横浜の桜木町駅近くにある紅葉坂の青少年センターにて毎年2月に行われる発表会では関東方面に住んでいる同級生の数名が皆で会えるのを楽しみにして見にきてくれます。

故郷を離れて50年以上がたちますが、皆さんにお会いするとすぐに幼い頃にタイムスリップした感覚になり、雫石なまりで話しに花が咲きます。これからも、雫石に帰省して皆さんとお会いして楽しい時を過ごしたいと思っています。



上寺（広養寺）にて兄夫婦や孫と



家族旅行（左端筆者）



踊りの発表会

太田サチさんプロフィール
昭和16年生まれ。
雫石小学校—雫石中学校—佐々木美容室—横浜理容美容高等学校
—昭和55年太田美容室開業し現在に至る。趣味新舞踊。

雫石町へようこそ



お嫁さん

お婿さん



家族みんなで (夫の和浩さん、長男の滉平君 (小3・右側)、次男の慎平君 (小2・中央)、長女の友香ちゃん (小1・左側) と)

ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」

ぬまの みつえ
沼野 好津江さん (37歳 宮古市山口出身)
(旧姓: 小笠原、南行政区在住)

Q-震災の影響はありましたか?

- 実家は高台のため直接影響はありませんでしたが、いとこが亡くなったり、宮古市は大変な被害でした。少しずつではありますが、皆様の支援により復興しており感謝しております。

Q-雫石町で暮らしてみいかがですか?

- 雪の多さに驚きました。

Q-町に望むことは?

- 雫石町にはいつまでも、夏にはホタルが見られて、冬には子どもたちが雪で思う存分遊ぶことのできる自然あふれる町でいてほしいです。3人の小学生を持つ親としては、子育て支援のさらなる充実を望みます。

議会の主な動き 2～4月

2月			3月			4月		
1日	議会運営委員会 第46回いわて雪まつり 開会セレモニー		19日	総務・教育民生常任委員会		19日	第2回雫石町議会3月定例会閉会 町内各小学校卒業式	
3日	第26回雫石町民音楽祭		20日	鶯宿温泉開発第44回通常総会		28日	議会運営委員会	
6日	高知県土佐清水市議会 行政視察来庁 鹿児島県曾於市議会広報等 特別委員会来庁		22日	議員全員協議会		31日	第31回民舞細川流 チャリティー発表会	
10日	第10回町民劇場		25日	平成25年第1回盛岡地区 衛生処理組合議会定例会				
12日	盛岡市市政調査会研修会		26日	雫石町防犯交通安全推進大会				
13日	産業建設常任委員会		27日	第2回雫石町議会3月定例会 開会 (3/19まで)				
14日	2013 しずくいし農林業躍進の 集い 議員全員協議会		28日	平成24年度雫石町自衛隊入隊 者激励会				
15日	政務調査会							
17日	雫石町女性のつどい 2013		1日	雫石高等学校平成24年度卒業式		1日	新年度議長訓示	
18日	議会運営委員会		3日	第21回町ふるさと民謡舞踊まつり		4日	町農業経営者協議会 第20回定期総会	
			4日	議会広報編集特別委員会		5日	町内小中学校入学式	
			11日	議会運営委員会		6日	南畑小学校入学式	
			13日	雫石中学校卒業式		7日	雫石高等学校入学式	
			15日	安庭小学校卒業式		8日	町内小学校入学式	
			16日	橋場・大村小学校卒業式		9日	雫石小学校入学式	
						10日	春の交通安全のぼりロード大作戦 議会広報編集特別委員会	
						15日	政務調査会	
						18日	議会広報編集特別委員会	

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳 (1月～3月)】

月	葬祭費	お祝い、会費
1	0件 0円	4件 1万6000円
2	0件 0円	6件 2万0800円
3	0件 0円	3件 1万3000円
合計	0件 0円	13件 4万9800円

■編集デスク

前号でお願いいたしましたアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。各議員も町民の皆様と議会との距離を縮め、ご意見・提言を町政に反映させるよう日々取り組んでいます。

議会だよりや、ホームページ等で議会の話題をお知らせしていますが、今回はアンケートにより、皆様のお考えをお知らせいただきました。今後の議会運営や議会だよりの内容充実の一助にさせていただきます。

桜の便りもそろそろとなりますが、内容の濃い21日間の3月定例会を終え、さらなる町政の発展のため日々研鑽してまいります。議会改革の一環として議会の映像配信にも取り組んでおり、ますます襟を正して行動することを肝に銘じています。 (編集委員 幅 秀哉)